

短期トレードの罠

YWCトレードロジック事業部販売担当責任者の
「ふいぼなっち」こと若尾 裕二です。

いつも弊社教材をご愛顧受け賜りまして、
誠にありがとうございます。

この場を借りて厚く御礼申し上げます。

日頃のご愛顧に心より感謝を込めて
特別レポート「短期トレードの罠」を進呈させていただきます。

このレポートに記載をしている内容は、FX 業者が包み隠している真実をあからさまにして
いる内容なので、くれぐれもレポートの内容が外部に漏れないようにお気を付け頂きます
よう、お願い申し上げます。

現在、日本国内のほとんどの FX 業者では、売買手数料は必要なしで取引をすることが
可能になっております。

その代わりにスプレッドがあり、これが売買手数料の役割を果たしておりFX 業者の利益と
なっております。

スプレッドとは買値と売値の差のことですが、この差が FX 業者の利益になっているという
ことです。

現在は各業者間のスプレッド競争が勃発して、主要な通貨ペアでは、ものすごく狭いス
プレッドになっていることはご存知の通りです。

米ドル／円を例に挙げますと、ほとんどの FX 業者ではスプレッドが 2 銭未満であり、0.3
銭などという業者も出てきました。

サービスを提供するFX 業者としては、コスト面を有利にして他業者よりも顧客を確保して、売買回数を増やしてもらおうと考えている訳です。

そして我々トレーダーとしては、スプレッドが狭くなるということは、それだけポジションを建てるために必要なコスト(費用)が下がるということですから、大変に歓迎すべきことです。

トレーダーの中には、これだけスプレッドが狭くなってきたんだから、以前よりもかなり儲けやすくなると考える人たちが増えてきました。

だから、売買回数の多いスキャルピングで効率的にお金を稼ごうと考える人たちが増えてきたのです。

FX 手法の教材などでも、スキャルピング系やデイトレード系の教材は非常に多く販売をされており、とても多く販売されております。

教材の中には、FX は銀行 ATM のようなもので、ちょっとした空き時間にパッと稼ぐなどというものも販売されているくらいです。

でも、ここでハッキリとお伝えしておきますが、トレードは短期トレードになればなるほど難しくなります。

「サラリーマンで日中はチャートが見れないから、帰宅後に夜だけトレードをしていますと思うように資金が増えていきません。」

これまでにコンサルティングしてきたお客様の中で、そのような悩みを幾度となく耳にしてきました。

車の世界では、F1 レースが最高峰のレースだと言われております。

FX ではスキャルピングがF1 レースだとお考え下さい。

つまり、自動車の免許を取ったばかりの初心者ドライバーが、いきなりF1 レースに挑もうとするようなものです。

危険極まりないことないのですが、FX ではそのような無謀な人たちが後を絶ちません。

目まぐるしく動くチャートとにらめっこをして、瞬時に判断を下さなければいけないから稼ぎにくいというわけではありません。

そのこと以上に、勝った時の利益幅と負けた時の損失幅のバランスが悪いという理由のほうが、勝ちにくい理由と言えるのです。

ですが、それ以上に勝ちにくい理由が存在しています。

それは、短期トレードはコスト負けしやすいということです。

これが、短期トレードの罠であり、短期トレードでは勝ちにくい最大の要因なのです。

それでは、以下に理解しやすいように具体例をあげて解説します。

A君とB君という二人のスーパートレーダーがいました。

A君は、トレードスキルが高いスキャルピングトレーダーです。

そしてB君は、トレードスキルが高いスイングトレーダーです。

二人とも、米ドル／円の通貨ペアに限定をして、スプレッドが0.5銭のFX業者で取引をしていました。

A君はスキャルピングトレーダーなので、1日に平均30回のトレードをしています。

そして1か月間で600回のトレードをこなし、信じられないことに600連勝という大記録を打ち立てました。

1回のトレードでの平均獲得利益幅は、スキャルピングなので10pipsですが、600連勝なので、その月の獲得利益幅は6,000pipsという驚異的な成績でした。

一方のB君はスイングトレーダーなので、2日に平均1回のトレードをしています。

そして1か月間で10回のトレードをこなし、これまた絶好調で10連勝しました。

1回のトレードでの平均獲得利益幅は、スイングトレードなので 80pips ありました。

なので、その月の獲得利益幅は 800pips という好成績をおさめました。

さて、ここで質問なのですが、A 君と B 君を比較した場合には、どちらのトレーダーが優れていると思いますか？

少し考えてみてください。

これは100人に聞けば、ほぼ全員が A 君のほうが優れていると答えます。

はい。僕もそう思います。

10連勝なら僕自身でも何回もしたことはありますが、さすがに600連勝はありません。

ものすごくスキルの高いスーパートレーダーであることは、疑う余地もありません。

ですが、もちろん B 君もすごいです。1か月間負けなしなのでから。

それでは二人のトレーダーの実績を、別の角度で観察してみましょう。

トレードを行うに当たり、避けて通れないのはトレードコストです。

トレードコストとは、FX ではレポートの冒頭で述べたようにスプレッドですね。

二人は 0.5 銭のスプレッドの業者でトレードをしています。

実際には、スプレッド以外にも、スリッページが発生する業者も多いのですが、相場状況によってもスリッページには変動がありますので、ここではスリッページは一切発生しないということにします。

ちなみにスリッページとは、約定時に指値や逆指値の価格から、数 pips 価格がすべて約定することを言います。

80 円で売りのストップ(逆指値)注文を入れておいたのに、約定時にスリッページが発生して 79.98 円で約定されるということがあります。

そのような状態のことを、スリッページが発生したと言います。

さて、それでは A 君の1か月間のトレードコストはいかがでしょうか？

スプレッド 0.5 銭 × 600 回のトレードなので、300pips のトレードコストが発生している計算になります。

それでは B 君の1か月間のトレードコストはいかがでしょうか？

スプレッド 0.5 銭 × 10回のトレードなので、5pips のトレードコストで済みました。

トレードコスト面では、トレード回数が少ない分だけ、圧倒的に B 君のほうが有利でした。

それでは最後に、トレード効率という面から二人のトレードを比較してみましょう。

A 君は 6,000pips の利益幅を獲得するために、300pips のトレードコストを掛けたので、コスト比率は 5%ということになります。

そして B 君は、800pips の利益幅を獲得するために、5pips のトレードコストを掛けたということなので、コスト比率は僅か 0.625%だということです。

つまり何が言いたいのかというと、A 君は、A 君の1日の平均獲得利益幅の 300pips を、1か月間のトレードコストで食いつぶしてしまっているということをお伝えしたかった訳です。

600 連勝などというあり得ないほどのスキャルピングのスーパートレーダーの A 君でさえ、1か月間のトレードコストは1日の利益幅と同じだけ掛かってしまうのです。

ということは、勝率が下がれば下がるだけ、思いつきりコスト負けしてしまうということになりますね。

「そりゃ、儲かるわけないですよねえ。」

スキャルピング派のトレーダーで、勝率もそこそこ良くて、利益対損失比も悪くはないのに、

お金が思うように増えていかないというトレーダーが大勢います。

これが「短期トレードの罠」です。

罠なので、FX 業者はこの事実は明らかにしておりません。

売買手数料を無料にしているので、トレードを頻繁に繰り返してくれる短期トレーダーは、FX 業者にとっては優良顧客なのですから。

この事実が明らかになってしまえば、短期トレードをしようとする人は激減するでしょうし、そうなればそうなったで FX 業者は淘汰され、我々トレーダーとしては不利な状況に追い込まれてしまいます。

あまりにも無防備に FX をしている人が多すぎるような気がします。

汗水流して手に入れた大切なお金なのですから、賢く運用していくようにして下さい。

このレポートがお役に立てれば幸いです。

最後までご精読ありがとうございました。